第Ⅴ章
教　育　研　究　環　境

第Ⅴ章　教育研究環境

第１節　教育研究目標を達成するために必要なキャンパス（校地、運動場、校舎等の施設設備）の整備状況とその適切な維持・運営

（１）事実の説明（現状）

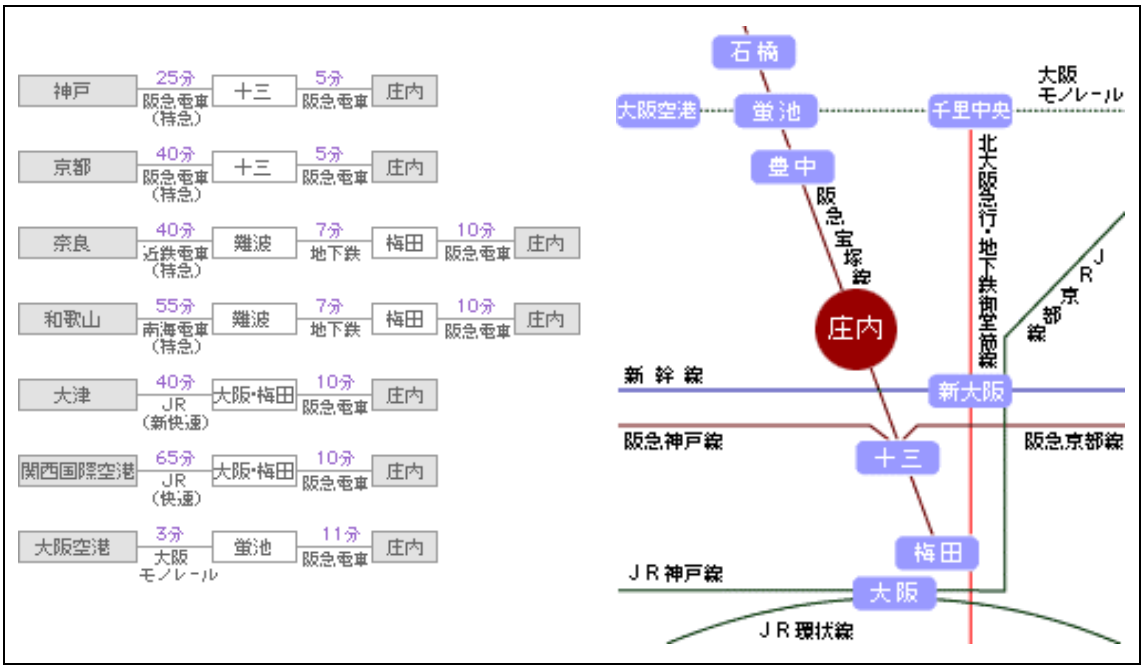
― 施設・設備概要 ―

1954 年（昭和 29 年）に、豊能郡庄内町野田（現、豊中市庄内幸町）に校地 9,944 ㎡を取得し、味原町から移転し現校地となった。現在、大阪音楽大学、大学専攻科、大阪音楽大学短期大学部、短大専攻科、及び大学院音楽研究科が同一校地を共用している（以下本章各節の記述は上記全てを含む）。図 2 の施設・設備の概要図において示されるように、本学は大きく第１キャンパスと第 2 キャンパスからなり、また、第１キャンパスから南東へ徒歩約 20 分のところには、4 棟（Ａ～Ｄ棟）の学生寮（女子学生専用）と付属音楽幼稚園が設置されている。さらに本学より車で約 1 時間の箕面市下止々呂美の山中には、セミナーハウス風の箕面学舎も設置されている。図 3 に関西主要駅からのアクセス方法を示す。

都市部に立地する音楽大学としての利点は、音楽活動が集中する人口密集地域にキャンパスを置くことで、社会から演奏を評価して貰う機会や、学生が社会から音楽的刺激を得る機会との両面に有利であると言える。また、都市部に位置する場合に生じる自然環境不足については、箕面学舎を設置することによって対応している。

図 2　施設・設備の概要

図 3　関西主要駅からのアクセス方法



第 1 キャンパスへは

- 大阪・梅田から阪急電車宝塚線（普通）で 4 つ目、庄内駅下車。西出口より北西へ徒歩 7 分。
- 新幹線新大阪駅から車で約 15 分。
- 大阪空港（伊丹）から車で約 15 分。
- 大阪空港（伊丹）からモノレール（大阪空港ー蛍池）−阪急電車（蛍池駅から梅田行き普通）を経由して約 30 分。
- 名神高速道路・豊中インターチェンジ、阪神高速道路・豊中南インターチェンジから車で約 5 分。

第 2 キャンパスへは

- 第 1 キャンパスから北西へ徒歩 10 分。（第 1 キャンパス H 館西口からスクールバス運行）
- 名神高速道路・豊中インターチェンジ、阪神高速道路・豊中南インターチェンジから車で約 2 分。

付属音楽幼稚園へは

- 阪急・庄内駅から東へ徒歩 15 分。

※本学 HP より引用

文部省届出面積（1999 年 1 月 13 日届出）を表 14、大阪府届出面積（2003 年 6 月届出）を表 15 にそれぞれ示す。

表 14　文部省届出面積

○ 校地届出面積＜1999 年 1 月 13 日＞　67,828.00 ㎡

	名　称	所　在　地	面　積	備　考
自有地	庄内校地 (A-H、J 号館)	〒561-8555 豊中市庄内幸町 1-1-8	9,943.59 ㎡	大学、短大、大学専攻科、短大専攻科、大学院と共有
	西町校地 (L-N 号館)	〒561-0822 豊中市庄内西 1-23-2(OCM) 〒561-8555 豊中市庄内西町 1-5-38(OH)	4,183.53 ㎡	同上
	野田校地 (O、P 号館)	〒561-0855 豊中市野田町 36-1	9,015.19 ㎡	同上
	名神口校地 (K 号館)	〒561-0841 豊中市名神口 1-4-1	7,171.00 ㎡	同上
	豊南校地 (豊南寮)	〒561-0814 豊中市豊南町東 1-5-1	4,509.47 ㎡	同上
	箕面校地 (ｾﾐﾅｰﾊｳｽ用)	〒563-0252 箕面市下土々呂美 520-1	32,854.00 ㎡	同上
	計		67,676.78 ㎡	

借地	西町借地	〒561-0822 豊中市庄内西町 1-23-2	151.22 ㎡	同上
	計		151.22 ㎡	

○ 校舎届出面積 ＜2001 年 1 月 16 日＞（幼稚園舎を除く）　46,752.08 ㎡

表 15　大阪府届出面積（2003 年 6 月届出）

○ 校地届出面積（自有地：豊南校地）　4,139.01 ㎡

○ 校舎届出面積　1,713.81 ㎡

表 16 に上記校地内に配置される校舎の延べ面積と概要、表 17 に各館の教室数の内訳（部屋数）及び授業用の機器・備品数を示す。

表 16　校舎面積と施設配置表

○ 第 1 キャンパス〈庄内校地(9,943.59 ㎡)〉

施設	延べ面積	地上	主要施設
A 号館	3,679.88 ㎡	4F	教室, レッスン室, 学務センター エクステンションセンター, 事務局
B 号館	2,244.75 ㎡	4F	教室, レッスン室, 演習室
C 号館	1,903.24 ㎡	5F	図書館, 教室, レッスン室, 演習室
D 号館	1,606.84 ㎡	4F	試聴室, 視聴覚室, 教室, レッスン室, 演習室

Ｅ号館	590.10 ㎡	3Ｆ	練習室,クラブ用部室
Ｆ号館	3,909.15 ㎡	5Ｆ	演習室,教室,レッスン室,研究室,練習室
Ｇ号館	247.83 ㎡	3Ｆ	練習室,学生自治会室
Ｈ号館	1,439.05 ㎡	3Ｆ	研究室,資料室
Ｊ号館／学生サロン「ぱうぜ」	1,378.63 ㎡	2Ｆ	食堂、売店、
守衛室	11.42 ㎡	1Ｆ	
庄内校地校舎面積	17,010.89 ㎡		

○ 第１キャンパス〈西町校地(4,183.53 ㎡)〉

施設	延べ面積	地上	主要施設
Ｌ号館／ザ・カレッジ・オペラハウス	5,489.39 ㎡		演習室,教室,レッスン室,研究室,練習室
Ｍ号館／チケットＯＣＭ・広報室	72.87 ㎡	1Ｆ	
Ｎ号館／入試広報デスク	287.97 ㎡	2Ｆ	
西町校地校舎面積	5,850.23 ㎡		

○ 第１キャンパス〈野田校地(9,015.19 ㎡)〉

施設	延べ面積	地上	主要施設
Ｏ号館	3,375.15 ㎡	3Ｆ	演習室、教室、レッスン室 研究室、練習室
Ｏ２号館	186.14 ㎡	2Ｆ	倉庫等
Ｐ号館／含、ミレニアムホール	2,582.17 ㎡	3Ｆ	音楽ホール型大教室「ミレニアムホール」 大学院研究室、レッスン室(兼練習室)、演習室
野田校地校舎面積	6,143.46 ㎡		

○ 第２キャンパス＜名神口校地(7,171.00 ㎡)＞

号館	延べ面積	地上	主要施設
Ｋ号館／含、音楽博物館	14,310.41 ㎡	5Ｆ	音楽博物館 録音スタジオ、体育館(若人広場) 演習室、パイプオルガン室 教室、レッスン室、練習室、食堂、サロン
名神口校地校舎面積	14,310.41 ㎡		

○ その他＜豊南校地(4,509.47 ㎡)＞

号館	延べ面積	地上	主要施設
豊南寮	2,944.11 ㎡	4F	A～D の 4 棟、食堂
音楽幼稚園	－	－	－
豊南校地校舎面積	2,944.11 ㎡		

○ その他＜箕面校地(32,854.00 ㎡)＞

号館	延べ面積	地上	主要施設
箕面学舎	492.98 ㎡	1F	A～C の 3 棟、教室、食堂、シャワー室
箕面校地校舎面積	492.98 ㎡		

以上、校地の延べ面積合計は 67,828.00 ㎡、校舎の延べ面積合計は 46,752.08 ㎡となる。

表 17　各館の教室数の内訳（部屋数）及び授業用の機器・備品数

○ 第 1 及び第 2 キャンパス各館の教室数の内訳（部屋数）

	レッスン室	研究室	教　室	演習室	練習室	実習室
A号館	21		6			
B号館	27		9	1		
C号館	15		4	2		1
D号館	14		4	1		
E号館					8	
F号館	35		10	6(内 ML1)	58	
G号館					10	
H号館		42				
O号館	10	2		6	30	
P号館		1		5		
K号館		3	4	28	29	1
合計	122	48	37	49	135	2

ML:Music Labolatory

○ 授業用の機器・備品数（2004 年度　4 月現在）

種類	個数	備　　考
鍵盤楽器	948 点	・ フルコンサートグランドピアノ：11 台 ・ グランドピアノ：460 台 ・ アップライトピアノ：67 台 ・ 電子オルガン電子ピアノを含む

管弦打楽器	529 点	・ ピッコロ(10)、アルトフルート(6)、C バスフルート(7)、F バスフルート(3)、コントラバスフルート(2)、スタンド類(2) ・ オーボエ・ダモーレ(2)、イングリッシュホルン(3) ・ As クラリネット(1)、Es クラリネット(7)、A 管(4)、B 管(2)、バセットホルン(4),アルトクラリネット(8)、バスクラリネット(14)、コントラバスクラリネット(5)、スタンド類(4) ・ コントラファゴット(1)、コントラファゴットスタンド(2)、ファゴットスタンド(4) ・ ソプラニーノサックス(2)、ソプラノサックス(5)、テナーサックス(10)、バリトンサックス(12)、バスサックス(2)、コントラバスサックス(1),スタンド類(5) ・ アルトホルン(4)、ナチュラルホルン(2)、バリトンホルン(2) ・ B コルネット(11)、Es コルネット(2)、フリューゲルホルン(6)、C ロータリートランペット(4)、B ロータリートランペット(2)、C トランペット(1)、Es/D トランペット(2)、F/G トランペット(1)、ピッコロトランペット(2)、アルトトランペット(2)、バストランペット(2) ・ アルトトロンボーン(2)、バストロンボーン(2) ・ F チューバ(2) ・ 金管楽器各種ミュート等(86) ・ 専門ビオラ(26)、副科ヴァイオリン(119),副科ビオラ(24)、副科チェロ(24)、副科コントラバス(1) ・ その他(33)
合奏用楽器	1314 点	・合奏授業用管弦打楽器
教育備品	1532 点	・ステレオ装置、LD・CD・DVD プレーヤー、TV、カセットデッキを含む

― 運動場及び体育館 ―

併設教育機関と共通の運動場及び体育館施設としては第 1 キャンパス野田校地内に約 40,632 ㎡の屋外運動場、また、名神口校地のＫ号館内に 1,615.03 ㎡の屋内体育施設を有し、授業に利用されている。

― 図書館及び視聴覚室関連の教育研究環境 ―

本学が収蔵する資料点数は 129,000 点、とりわけ楽譜に関しては、貴重な原本を含め 42,000 点に及ぶ。また、ＣＤ、ＤＶＤ等の音源・映像資料は 50,000 点に及び、幅広いジャンルの音楽・映像を収蔵している。これらは併設教育機関共通の資料として利用されている。私立大学図書館協会と音楽図書館協議会（MLAJ）に加盟しており、本学教職員・在学生は、加盟間での閲覧、所蔵調査及び相互貸借ができるようになっている。また、ＯＰＡＣ（Online Public Access Catalogue）検索システムによる図書館資料の検索が可能となっている。

開館時間は月曜日～金曜日の 9:20～18:00（授業期間外は 16:50）及び、土曜日 9:20～13:30 となっており、休館日は日曜・国民の休日（振替休日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 6 日）、本学の創立記念日(10 月 15 日)、推薦及び一般入学試験期間、蔵書点検整備期間となっている。学外者の利用は、館内閲覧・複写（調査研究のため一部分）・視聴が可能となっている。事前に本学図書館に連絡の上、最寄りの公共図書館で「閲覧願」を発行してもらい、来館当日はその「閲覧願」と運転免許証など本人であることを証明できる書類の提示を求めている。

表 18 に図書館、視聴覚室の概要を示す。また、図書・視聴覚資料については表 19 において、その内訳及び変動数を示す。表 20 には、図書資料費・事務費の状況（2002～2005 年度）を示す。これらの表が示すように、資料費、事務費ともに、2002 年度以降予算額、支払額の合計が減少しており、2004 年度資料費、事務費の大幅な減少を行なった事が和書及び視聴覚資料の受入数の減少として現れている。しかしながら、洋書は順調に伸びており、より明確な目的の基、教育研究環境の充実化に向けて運営されていると言える。その事は、表 21 に示す図書館の入館者数（併設教育機関との合計）が年々増加の傾向にあることによって示されていると考えられる。

表 18　図書館、視聴覚室の概要

建　物	名　　称	面　積
C 号館	総合受付カウンター・閲覧室	198.00 ㎡
	教員閲覧室	3.70 ㎡
	書庫スペース	133.20 ㎡
D 号館	視聴覚受付カウンター・視聴室(LP・CD 視聴 20 ブース)	39.70 ㎡
	視聴覚室(DVD・LC・Video 視聴 11 ブース)	51.12 ㎡
	教員試聴室・第 2 閲覧室	11.36 ㎡
	書庫スペース	102.24 ㎡
K 号館	書庫スペース	158.00 ㎡

表 19　図書・視聴覚資料の内訳

○ 蔵書・資料総計（2002～2005 年度）

年度	図書					視聴覚資料
	一般書		音楽書・楽譜		総計	
	和　書	洋　書	和　書	洋　書		
2002	32,304	18,917	30,451	43,191	124,863	47,035
2003	32,951	19,018	3,1459	43,719	127,147	48,971
2004	33,227	19,137	31,994	44,502	128,860	49,978
2005	33,291	19,238	32,325	44,954	129,808	48,121

単位：図書(冊)・視聴覚資料(件)

○ 蔵書・資料の変動（2002～2005 年度）

年度	図書				視聴覚資料		
	年間受入数		年間除籍数	差引合計	年間受入数	年間除籍数	差引合計
	和書	洋書					
2002	1,803	517	941	1,379 増加	1,840	3	1,837 増加
2003	1,828	652	196	2,284 増加	1,940	4	1,936 増加
2004	961	939	187	1,713 増加	1,020	13	1,007 増加
2005	510	580	142	948 増加	310	2,167	1,857 減少

単位：図書(冊)・視聴覚資料(件)

○ 雑誌・研究紀要の変動（2002～2005 年度）

年度	雑誌				研究紀要			
	年間受入数		年間除籍数	差引合計	年間受入数	年間除籍数	差引合計	所蔵累計
	和書	洋書						
2002	128	67	0	195	566	0	566	687
2003	135	64	0	199	598	0	598	707
2004	135	60	0	195	581	0	581	713
2005	131	57	0	188	504	0	504	722

○ 視聴覚資料内訳とその変動（2002～2005 年度）

	2002 年度	2003 年度	2004 年度	2005 年度
レコード	18,077	18,077	18,087	15,925
ＣＤ	22,778	24,380	25,200	25,473
カセットテープ	202	204	194	194
ビデオテープ	2,724	2,804	2,821	2,821
ＬＤ	1,722	1,722	1,721	1,719
スライド	15	15	15	15
マイクロフィルム	574	575	575	575
マイクロフィッシュ	500	500	500	500
ＣＤ-ＲＯＭ	27	28	28	30
ＤＶＤ	416	666	837	869
合計	47,035	48,971	49,978	48,121

表 20　図書資料費・事務費の状況（2002～2005 年度）

種　類	予算項目	2002 年度	2003 年度	2004 年度	2005 年度
図書館資料費	予算額合計	27,390,000	23,000,000	17,000,000	16,800,000
	支払額合計	21,230,586	20,513,190	16,735,512	13,174,919
図書館事務費	予算額合計	11,955,000	13,500,000	15,030,000	12,000,000
	支払額合計	14,399,551	14,055,960	11,794,299	12,483,969

表 21　図書館の入館者数（併設教育機関との合計　2002～2005 年度）

年　度	施　設　区　分	教職員	学　生	その他	合計（人）
2002 年度	C 号館	3,339	35,135	1,407	39,881
	D 号館・試聴室・視聴覚室	3,952	21,472	864	26,288
2003 年度	C 号館	3,700	35,808	1,248	40,756
	D 号館・試聴室・視聴覚室	5,495	27,548	899	33,932
2004 年度	C 号館	4,115	37,435	1,716	43,266
	D 号館・試聴室・視聴覚室	6,080	32,652	1,049	39,781
2005 年度	C 号館	4,578	38,090	1,908	44,556
	D 号館・試聴室・視聴覚室	7,207	32,778	1,138	41,123

― ザ・カレッジ・オペラハウス ―

ザ・カレッジ・オペラハウス は、1989 年、本学の創立 70 周年記念事業の一環として竣工した日本初のオペラハウスである(2006 年で開館 17 年目)。表 22 に建設概要を示す。

専属の管弦楽団、合唱団を擁し、オペラ、管弦楽団・合唱団定期演奏会、室内楽など年間を通じて多彩な催しを行なっている。

オペラは、7 月のサマー・オペラ「モーツァルト・シリーズ」と、2001 年 11 月から新たにスタートした「20 世紀オペラ・シリーズ」と合わせて年 2 回の公演が続けられており、また、オーディションで選ばれた学生による各種演奏会も開催されている。

オペラハウスにおける利用状況については、第Ⅴ章. 第 2 節. ②においてミレニアムホールの利用状況と併せて報告する。

表 22　ザ・カレッジ・オペラハウス建設概要

敷地面積	建築面積	延床面積	階数	残響時間	客席数	舞台面積	後ろ舞台
3,609.39 ㎡	2,255.93 ㎡	5,489.39 ㎡	地上 7 階 地下 2 階	1.2ー1.4 秒 （満席時）	756 席	580 ㎡	48 ㎡

― P 号館（ミレニアムホール）　―

2000 年 9 月に竣工した音楽ホール型大教室（愛称：ミレニアムホール）として、第１キャンパス（野田校地内)、P 号館内に位置し、音響、照明など学生が実践を通して舞台機構が学修できるようになっている。二重屋根、二重壁構造採用し、外部騒音を遮蔽、空調の消音化にも努め質の高い音楽を創出する空間となっている。表 23 に建設概要を示す。

本学主催の演奏会、授業延長上の発表会の他に、生涯学習の場として、レクチャーコンサートを年４回の特別講義として開催している。

施設利用対象者は本学学生、本学教職員、本学幸楽会会員、本学が認めた学会、研究

会等となっている。

このホールがあるＰ号館は、大学院研究室や練習室を含めた三つのゾーンから成り立っており、一体感のある構成になっている。利用状況については、ザ・カレッジ・オペラハウスと同様に第Ⅴ章. 第 2 節. ②において示す。

表 23　Ｐ号館（ミレニアムホール建設概要）

敷地面積	建築面積	延床面積	階数	残響時間	客席数	舞台面積	後ろ舞台
9,015 ㎡	1,588 ㎡	2,601 ㎡	地上 3 階	1.7 秒	302 席 可動席 62 含む	約 106 ㎡	－

― 音楽博物館 ―

開学以来の研究成果や資料の蓄積と、これらの研究に伴い蒐集された歴史的な楽器や楽譜等の管理、保全を目的に音楽博物館を保有している。この音楽博物館は第 2 キャンパス内にあり、2002 年度より、旧･付属楽器博物館と旧･音楽研究所（音楽文化研究室・民族音楽研究室）が合併し楽器や音楽資料を総合的に収集・研究する、本学独自の博物館となった。

主に「世界の楽器と音楽」、「関西の西洋音楽」、「関西の伝統音楽」の 3 分野に特化し、特に世界の楽器に関してはサントリー株式会社より寄贈を受けたサントリー弦楽器コレクションが常時展示されている。

弦楽器 42 点、弓 22 点、その他 12 点の計 76 点の中にはストラディヴァリウスのピッコロ・ヴァイオリンやガスパロ・ダ・サロ製作によるヴィオラ・ダ・ガンバ等の世界的に貴重な逸品も含まれている。また 2004 年４月には本学創立者、永井幸次初代校長の記念コーナーが設置され、関西における洋楽教育の先駆者として生きた永井幸次の年譜、教材用に作曲した合唱曲を収めた楽譜、愛用のオルガン等が展示されている。

2005 年度には博物館のデータベース化に着手しており、2008 年度には完了予定である。将来的には Web 上にデータベースを公開することも構想している。

開館時間(通常)は月曜日～金曜日 10:00～16:00（祝祭日、本学の休日を除く）で 8 月・2 月を除く月 1 回程度、土曜日（月 1 回）13:00～16:30 に開館している。

表 24 に音楽博物館が所蔵する資料内訳を示す。また表 25 に 2002 年度以降の入館者の内訳を示す。

表 24　音楽博物館／所蔵資料（2005 年度時点）

楽　　器	約 2,300 点
書　　籍	約 10,000 点
視聴覚資料	約 6,000 点
関連研究領域の論文	約 5,000 点
関西の民族音楽に関する資料	約 14,000 点
関西の洋楽史（明治ー現在）に関する一次資料)	約 260,000 点
大阪音楽大学の歴史に関する資料	約 60,000 点

表 25　音楽博物館入館者数一覧

年　度	学生	教職員	授業参加者	一般	ｸﾞﾙｰﾌﾟ見学	催事参加者	合計(人)
2002 年度	406	242	201	315	260	470	1,894
2003 年度	215	225	288	280	427	464	1,899
2004 年度	292	152	279	292	395	887	2,297
2005 年度	254	75	122	378	454	792	2,075

※2005 年度入館者数の減少は、90 周年事業のため 2 月・3 月休館した事による

― 情報サービス・ＩＴ環境等 ―

学内では現在学生用にパソコン室が設置され、就職、教養、授業等に利用されている。ぱうぜの 2 階にはネット接続可能なパソコンが 10 台設置され、学生達が自由に利用出来るようになっており使用頻度も非常に高い。表 26 に情報機器等の設置・整備・使用状況及び学内 LAN の整備状況、表 27 に 2006 年度のホームページアクセス状況を示す。

表 26　情報機器等の設置・整備・使用状況及び学内 LAN の整備状況

○ 情報機器等の設置・整備・使用状況

分類	使用目的	教室名	設置機材の概要	使用頻度
パソコン設置	コンピュータ演習室	F212	Win 37 台　ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀ＋ｽｸﾘｰﾝ	17/22
	コンピュータ演習室	F213	Win 37 台　ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀ＋ｽｸﾘｰﾝ	1/22
	ＤＴＭ演習室	K118	Mac24 台＋教員用 1 台 ﾌﾟﾗｽﾞﾏﾓﾆﾀ 2 台 MIDI 音源 MIDI 鍵盤 MIDI ﾋﾟｱﾉ	15/22
	ＭＩＤＩﾃｸﾉﾛｼﾞｰ演習室	K504	Win20 台＋教員用 1 台 MIDI 音源 MIDI 鍵盤	12/22
ｷｰﾎﾞｰﾄﾞｼｽﾃﾑ	ＭＬ教室	F313	電子ﾋﾟｱﾉ 21 台 制御用ＰＣ	16/22
	ＭＬ教室	F120	ｷｰﾎﾞｰﾄﾞ・ｼﾝｾｻｲｻﾞｰ 41 台 大型モニタ 2 台	21/22
パソコン設置	学習自習室	ぱうぜ	Win10 台（ネット接続可）	－
	学習自習室	K 号館	Win9 台 Mac1 台（ネット接続可）	－

○ 学内 LAN の整備状況

サーバ(9 台)	LAN　回　線		ＰＣ	用　　途
Web	Ａ号館	学務事務部門	41 台	事務用
WebDB		エクステンション事務部門	5 台	学生用(就職活動他)
メール		教員集会室	2 台	教員用
ウィルスチェック		会議室		
プロキシ	Ｃ号館	図書館	4 台	学生用(資料検索)
ドメイン	Ｄ号館	視聴覚室	2 台	学生用(資料検索)

教育研究 DB	H号館	教員研究室	32 台	教員用
学務ｼｽﾃﾑ	ぱうぜ	1 階		
学生用電子掲示板システム		2 階	9 台	学生用(自習室)
	K号館	音楽博物館	10 台	教職用
		K502	1 台	教職用
		K503		
		K504	20 台	授業用
		K215	1 台	教員用
		K118	25 台	授業用
		録音室	4 台	事務用(2 台) 録音関係(2 台)
		ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾌﾞｰｽ	9 台	学生用(自習室)
	O号館	管弦打研究室	2 台	教員用

表 27　2006 年度のホームページアクセス状況

ランク	コンテンツ	訪問者
1	休講情報	28,082
2	教員紹介	15,595
3	音楽指導者・演奏者紹介　（検索結果 1 ページめ）	10,833
4	携帯休講・補講情報選択画面	9,225
5	コンクール・オーディション情報検索	8,616
6	学部・学科紹介	8,596
7	音楽イベント一覧	8,034
8	音楽指導者・演奏者紹介（検索）	7,628
9	音楽指導者・演奏者紹介（検索結果 2 ページめ）	7,571
10	大阪音楽大学のご紹介	6,973
11	音楽イベント予約フォーム	6,886
12	特別講義・公開講座一覧	6,671
13	携帯休講・補講情報ログイン画面	6,037
14	コンクール・ オーディション情報	5,820
15	携帯メニューページ	5,674
16	入試情報	5,098
17	就職情報	4,827
18	トピックス一覧	4,757
19	採用情報（メイン）	4,293
20	入試要項	4,276
		訪問者合計：82,020 件

期間：4 月 1 日～6 月 30 日（学外のみ）

（２）第１節の自己評価

本学は上記のように、6 つの校地（庄内校地、西町校地、野田校地、名神口校地、豊南校地、箕面校地）に分立するが、箕面校地以外は本校（庄内校地）を中心とした徒歩圏内にキャンパスが位置しており、少し距離のある名神口校地へは本校よりスクールバスでの移動手段も確保されている。

コンピューター演習の授業を登録する学生は増加傾向にあり、毎年 3 月、9 月にはパソコン資格取得準備講座がそれぞれ 7 日間、11 日間開かれている。これら講座は、卒業後の資格、技術、教養として活かせるようにと、今後も選択希望者が増えると思われる。また、ペーパーレスな事務環境や充実した教育環境を実現するには LAN 環境整備拡充が必須と考えるが、各部屋間の通信、ネット接続及びメールのやり取り等はまだ充分とは言い難く、今後さらなる普及を計る必要がある。

（３）第１節の改善・向上方策（将来計画）

本学は豊中市の閑静な住宅地に位置するため、これ以上の拡大、拡張は困難と思われるが、教育研究活動には現時点で支障はなく現状維持を計りたい。現在、教職員や学生への個人メールアドレス配布やネット環境の充実に向けて取り組んでいる。今夏にはサーバーの入換え工事をはかり将来的に予想される強化を図る取り組みを行なった。

第２節　施設設備の安全性の確保と快適なアメニティとしての教育研究環境整備

（１）事実の説明（現状）

① 施設設備の安全性

それぞれの校地には事務所の設置、警備員の配置といった防護策をとっており、安全性の面からも対処出来ている。

また、防火管理体制を整備し、豊中南消防署に消防計画を提出している。現在これに基づき「大阪音楽大学自衛消防隊規程」を策定中である。

消防設備に関しては、防火扉や火災報知装置をはじめ、各校舎の高層階（４階以上）にある教室には非常用シューターを設置し、これらは年度毎に定期検査を行なっている。

② 教育研究目的を達成するための快適な教育研究環境と有効な活用状況

― 付属施設における演奏会集客数の推移 ―

本学の付属施設である、ミレニアムホール、ザ・カレッジ・オペラハウスにおいて多くの演奏会等が開催されている。表 28 に各施設にて 2003～2005 年度に開催された主な演奏会、表 29 に 2005 年度の発表会をそれぞれ入場者数も併せて示す。またザ・カレッジ・オペラハウスにおける活用状況は、別項を設けて示す。

表 28　2003～2005 年度の主な演奏会入場者の推移

	演奏会名	会場	2003 年度	2004 年度	2005 年度
1	ＭＥＩＳＴＥＲＫＯＮＺＥＲＴ（第 11,12,13 回）	OH	497	269	305
2	関音協主催　第 24 回アンサンブルの夕べ	OH	343		
3	ザ・カレッジ・オペラ（Ａ組）　（第 15,16,17 回）	OH	687	570	629
4	ザ・カレッジ・オペラ（Ｂ組）　（第 15,16,17 回）	OH	712	569	585
5	学生自主演奏会　ﾐｭｰｼﾞｶﾙ「ﾚ･ﾐｾﾞﾗﾌﾞﾙ」	OH	369		
6	学生自主演奏会　ﾐｭｰｼﾞｶﾙ「ﾚ･ﾐｾﾞﾗﾌﾞﾙ」	OH	672		
	ザ・ローレル・コンサート　（第 1.2 回）	IH	－	612	609
7	ミレニアムコンサート（後期第一夜）	MH	139		
8	ザ･カレッジ･コンサート　（第 14,15,16 回）	OH	376	291	178
9	ザ･カレッジ･アンサンブル･コンサート　（第 3,4,5 回）	OH	376	381	340
10	ジュニア・カレッジ・ソロ・コンサート　（第 10,11,12 回）	OH	456	310	299
11	ザ･コンチェルト･コンサート　（第 15,16,17 回）	OH	531	609	353
12	ジュニア・カレッジ・アンサンブル・コンサート　（第 10,11,12 回）	OH	434	302	251
13	新作展　（第 17,18,19 回）	OH	109	107	82
14	邦楽演奏会　（第 26,27,28 回）	OH	385	267	167
15	大阪音楽大学短期大学部定期演奏会　（第 12,13,14 回）	OH	376	609	718
16	ピアノ･グランド･コンサート　（第 18,19,20 回）	OH	426	499	405
17	大阪音楽大学 定期演奏会　（第 46,47,48 回）	SH	1820	1627	1428
18	大学・短大　合唱演奏会	OH	354	284	251
19	ミレニアムコンサート（後期第二夜）	MH	198		
20	大阪音楽大学短期大学部吹奏楽演奏会　（第 9,10,11 回）	OH	676	706	400
21	ストリング・コンサート	OH/IH/IH	472	599	464
22	大阪音楽大学吹奏楽演奏会　（第 35,36,37 回）	SH	1372	1647	
23	大阪音楽大学　卒業演奏会（第一夜）	OH	325	551	616
24	大阪音楽大学　卒業演奏会（第二夜）	OH	526	548	589
25	大阪音楽大学短期大学部　卒業演奏会（第一夜）	OH	326	330	257
26	大阪音楽大学短期大学部　卒業演奏会（第二夜）	OH	491	408	273
	ファイナルコンサート			414	
27	大阪音楽大学大学院演奏会	MH	194	171	159

OH：ザ・カレッジ・オペラハウス、MH：ミレニアムホール、SH：ザ・シンフォニーホール、IH：いずみホール、RH：豊中市ローズホール、AH：豊中市アクア文化ホール

表 29　2005 年度発表会の集客数

演奏会名		日時		使用ホール	入場者数	入場者数÷ホール席数
1	大学院 1･2 年歌曲研究発表会（前期）　～シューベルトとゲーテ～	6 月 15 日（水）	18:00	MH	115	38.1%
2	大学院　オペラ試演会　～ラ・ボエーム～	6 月 20 日（月）	17:30	OH	474	61.8%
3-1	作曲作品発表会（前期）＊	6 月 22 日（水）	17:00	MH	163	54.0%
3-2	作曲作品発表会（前期）＊	6 月 25 日（土）	15:00	MH	66	21.9%
4	大学院 2 年ピアノ研究発表会	6 月 28 日（火）	11:15	MH	139	46.0%
5	大学院 1 年ピアノ研究発表会	7 月 5 日（火）	11:15	MH	148	49.0%
6-1	大 3･4 年ピアノ専門特殊研究発表会（3 年生）	7 月 16 日（土）	10:00	MH	110	36.4%
6-2	大 3･4 年ピアノ専門特殊研究発表会（4 年生）	7 月 16 日（土）	13:00	MH	109	36.1%
7	大学院管弦打研究室ソロ研究発表会	9 月 27 日（火）	14:00	MH	66	21.9%
8	大 4 年ピアノ演奏法Ⅱ選抜学生発表会	10 月 25 日(火)	11:15	MH	141	46.7%
9-1	作曲作品発表会（後期）＊	11 月 9 日（水）	17:00	MH	131	43.4%
9-2	作曲作品発表会（後期）＊	11 月 12 日(土)	15:00	MH	25	8.3%
10	大学専攻科　ピアノアンサンブルⅡ発表会＊	11 月 15 日(火)	11:15	MH	127	42.1%
11	大学院 1･2 年歌曲研究発表会（後期）　～古典からロマンのながれ～	11 月 15 日(火)	18:00	MH	85	28.1%
12	大学専攻科　ピアノアンサンブルⅠ発表会＊	11 月 29 日(火)	11:15	MH	126	41.7%
13	大学院 1･2 年管弦打室内楽研究発表会	11 月 29 日(火)	17:00	MH	62	20.5%
14	大学院 2 年修士演奏会（オペラ）＊	12 月 3 日（土）	13:00	OH	132	17.2%
15	大学 4 年オペラ総合研究Ｂ受講生による発表会　～魔笛～	12 月 8 日（木）	17:00	MH	99	32.8%
16	ピアノ専門特殊研究Ⅱ公開試験 ＊	12 月 10 日(土)	14:00	OH	189	24.6%
17	大学 3 年ピアノ演奏法Ⅰ選抜発表会	12 月 13 日(火)	11:15	MH	129	42.7%
18	声楽(ｵﾍﾟﾗ･歌曲)特別研究Ⅱ公開試験 ＊	12 月 13 日(火)	17:00	OH	134	17.5%
19	大学院歌曲伴奏法Ⅰ・Ⅱ研究発表会	12 月 21 日(水)	13:30	MH	39	12.9%
20	合唱発表会	12 月 22 日(木)	15:00	OH	642	83.7%
21	大学院 1･2 年室内楽（管）ピアノアンサンブル研究発表会	1 月 10 日（火）	11:15	MH	57	18.9%
22	大学専攻科オペラ試演会　～ドン・ジョヴ	1 月 10 日（火）	17:30	OH	154	20.1%

	ァンニ～					
23	大学４年ピアノアンサンブルⅢ発表会	１月 12 日（木）	13:30	MH	141	46.7%
24	大学院１年オペラ研究発表会	１月 20 日（金）	17:30	MH	82	27.2%
25-1	院 1･2 ピアノ室内楽（弦）研究発表会	１月 24 日（火）	13:30	MH	20	6.6%
25-2	院 1･2 ピアノ室内楽（弦）研究発表会	１月 27 日（金）	13:30	MH	23	7.6%
26	短大専攻科　修了研究演奏＊	１月 28 日（土）	13:30	OH	51	6.6%
27	大学専攻科　声楽修了演奏＊	１月 30 日（月）	17:30	OH	83	10.8%
28	大学院２年ピアノ研究発表会	２月４日（土）	17:00	MH	35	11.6%
29	大学専攻科　ピアノ修了演奏＊	２月９日（木）	13:00	OH	43	5.6%
30	大学院２年修士演奏会（歌曲）＊	２月 13 日（月）	13:00	OH	74	9.6%
31	大学院２年修士演奏会（管弦打）＊	２月 14 日（火）	13:00	OH	86	11.2%
32	大学院２年修士演奏会（作曲）＊	２月 15 日（水）	13:00	OH	54	7.0%
33	大学院２年修士演奏会（ピアノ）＊	２月 16 日（木）	13:00	OH	60	7.8%
34	オペラ実習授業成果発表会　～魔笛～	２月 17 日（金）	17:00	MH	112	37.1%
35	大学院１年管弦打ソロ研究発表会＊	３月９日（木）	14:00	MH	30	9.9%
36	音楽学修士論文・卒業研究発表会	３月 16 日（木）	13:00	A301		
OH：ザ・カレッジ・オペラハウス、MH：ミレニアムホール、SH：ザ・シンフォニーホール、IH：いずみホール、RH：豊中市ローズホール、AH：豊中市アクア文化ホール						

＊：大学専攻科が関係する発表会

― ザ・カレッジ・オペラハウスにおける活用状況 ―

表 30 にザ・カレッジ・オペラハウスにおいて行われた演奏会及び施設設備に対する受賞歴を示す。また、表 31 にはザ・カレッジ・オペラハウスにおける公演実績を示す。

表 30　オペラハウス受賞歴

受賞年	受　賞　内　容
1990	大阪市景観建築賞奨励賞（建物） 関西照明技術普及会賞（シャンデリア）
1993	大阪文化祭賞本賞 ディスカバー・オペラ・シリーズ：ヘンツェ「若い恋人たちへのエレジー」
1994	日本ディスプレイ業団体連合会ディスプレイ産業奨励賞 モーツァルト・オペラ・シリーズ（ステージ・ディスプレイ）
1997	ABC 国際音楽賞・大阪舞台芸術賞・三菱信託音楽賞/以上３賞 日本オペラ・シリーズ：黛敏郎「金閣寺」
2000	第 20 回音楽クリティック・クラブ賞（オペラハウス管弦楽団） 第 30 回モービル音楽賞（ザ・カレッジ・オペラハウス）※これまでの活動成果
2002	大阪文化祭賞・第 23 回音楽クリティック・クラブ賞/以上２賞

	20 世紀オペラシリーズ：ブソーニ「トゥーランドット」
2003	大阪文化祭賞グランプリ・第 24 回音楽クリティック・クラブ賞/ 以上 2 賞 20 世紀オペラ・シリーズ：松村禎三「沈黙」
2005	文化庁芸術祭大賞：松村禎三「沈黙」

表 31　オペラ公演実績

シリーズ(公演)名称	公　演　曲　目
こけら落とし	G.ヴェルディ「ファルスタッフ」（1989年4月）
モーツァルト・オペラ・シリーズ （1990年ー1994年）	フィガロの結婚（1990年4月） 後宮からの逃走（1993年4月） 魔笛（1994年4月・5月）ほか、再演も含め4公演
ディスカバー・オペラ・シリーズ （1989年ー1992年）	G.F.ヘンデル「セルセ（クセルクセス）」（1989年11月） H.W.ヘンツェ「若い恋人たちへのエレジー」（1992年10月） ほか、再演も含め3公演
プッチーニ・オペラ・シリーズ （1995年ー1997年）	蝶々夫人（1995年4月） （三部作）外套／修道女アンジェリカ／ジャンニ・スキッキ（1996年4月） トスカ（1997年4月）
日本オペラ・シリーズ （1993年ー1997年）	團 伊玖磨「夕鶴」（1993年11月） 近藤 圭「出雲の阿国」（1995年11月） 黛 敏郎「金閣寺」（追悼公演）（1997年11月）ほか2公演
シリーズ・世紀末から新世紀へ （1998年ー2001年）	B.ブレヒト/K.ヴァイル「三文オペラ」（1998年7月） B.ブリテン「アルバート・ヘリング」（1999年3月） L.ダッラピッコラ「囚われ人」「夜間飛行」（2000年3月） G.メノッティ「領事」（2001年3月）
サマー・オペラ　新モーツァルト・シリーズ （1999年ー2002年）	フィガロの結婚（1999年7月） コジ・ファン・トゥッテ（2000年7月） ドン・ジョヴァンニ（2001年7月） 魔笛（2002年7月）
サマー･オペラ　モーツァルト･シリーズ （2003年ー）	フィガロの結婚(2003年7月) ドン･ジョヴァンニ（2004年7月） コジ・ファン・トゥッテ(2005年7月) 魔笛(2006年6月・7月)
20世紀オペラ・シリーズ （2001年ー）	芥川 也寸志「ヒロシマのオルフェ」ほか（2001年11月） F.ブゾーニ「トゥーランドット」（2002年11月）

	松村禎三「沈黙」（2003年１1月、2005年10月） A.ベルク「ヴォツェック」（2004年11月） 大栗裕「赤い陣羽織」(2006年11月) 鈴木英明「鬼娘恋首引」(2006年11月)
東京公演	黛 敏郎「金閣寺」（東京文化会館）（1999年9月） 松村禎三「沈黙」（新国立劇場）（2005年9月）
依頼公演	黛 敏郎「金閣寺」（びわ湖ホール）（1999年12月）

（２）第２節の自己評価

ミレニアムホール、ザ・カレッジ・オペラハウス共に大学専攻科のみならず本学付属機関や学内外の教員、著名人の公演や講義・公開講座等に頻繁に利用されており、そのほとんどが聴講可能な状況下にあり、地域文化の向上の一端も担っているといえよう。また、学生にとってミレニアムホール、ザ・カレッジ・オペラハウスは本格的なホールで演奏出来る貴重な体験の場としてとらえられており、本学への進学希望動機としても極めて重要な目標設定の場とされている。

（３）第２節の改善・向上方策（将来計画）

両施設共に空き日を見つけるのが困難なほどの稼働率であるが、表 29 に見るように必ずしも公演への入場者が多いとは言えない状況である。

催しについての広報にさらに力を入れ、多彩な音楽文化を表出出来る大学として地域と密着した活動が出来るよう方策を練っていきたい。

〔第Ｖ章の自己評価〕

練習室の設置、楽器の貸与、楽譜や蔵書の閲覧や視聴覚資料の聴取についての環境の整備はかなり整って来たものと思われるが、ＩＴ化の面では未整備の箇所も多く、今後は学生が集う空間の無線 LAN 化など、就職や音楽環境に対応したネット環境の構築に力を入れなければならないだろう。

〔第Ｖ章の改善・向上方策（将来計画）〕

都市部に立地する本学としては、音楽活動が集中する人口密集地域にキャンパスを置くことで、社会からの演奏の評価や、学生が社会から音楽的刺激を得る機会が多いと言えよう。このような立地条件を利点として捉え、地域社会へ文化活動の発信地として大学専攻科のあり方を問えるよう方策を練っていきたい。